

第 61 期北海道支部 支部長 田頭 崇治（日本製鉄株式会社）

第 61 期の支部長を仰せつかりました日本製鉄室蘭製鉄所の田頭です。

支部長就任にあたりご挨拶を申し上げます。

日本は鉱物資源が乏しいため輸入した原料を加工して利用するという製造技術で経済発展を成し遂げてきた国です。裏を返せば優れた製品をより安価に製造するための技術力が国際競争を生き抜くためには不可欠で、その基礎となる要素技術、開発力を身に着けた技術者を育成していかなければ日本の将来はありません。研究や技術開発、若手技術者の育成の観点からも日本の基幹学会である本会が果たすべき役割は重要であり、機械及びその関連分野の更なる発展を図るために以下に述べる活動について重点的に取り組みたいと考えております。

- ・ 広い世代に機械工学に興味を持ってもらうための講演会、協賛事業、懇話会の活性化
- ・ 若手技術が主体的に研究、技術開発に取り組むための環境構築
- ・ 支部講演会と学生会卒研発表会合同講演、企業展示の実現による産学連携強化

足元は新型コロナウイルスの影響により世界全体の需要は一段と減速傾向でリーマンショック直後と同様の様相を呈しており、先が見通せません。

逆風での船出となりますが、以上に申し上げた活動を展開することで機械学会の魅力向上を図りつつ社会全体の活性化につなげたいと考えております。

支部会員皆様のご支援、ご協力を賜りますようどうかよろしくお願い致します。